

## ネットロウシルク・ニット製品の試作

福島県蚕業試験場養蚕部・平成8～10年度福島県蚕業試験場年報

1 部門名 蚕糸－絹糸－加工

分類コード 09-04-34000000

### 2 要 旨

先に、新形質(長繊維繭糸と混繰した混繰спанロウシルク)を開発し、それを用いたニット製品をいくつか試作したが、羊毛ニットに酷似し、絹製品として高い付加価値を得ることはできなかった。そこで本項では、付加価値の高い絹製品として評価を得ることを目指した新素材生糸(混繰ネットロウシルク)を作出し、それを素材としてニットセーターを試作した。

繰糸供用繭として、比較的織度の太い春蚕期用品種の春嶺×鐘月を用いた。

繰糸は、新增沢工業製спанロウシルク繰糸機により巻き取り速度11～13m/minで行った。糸条の構成はネット(網状)のみによらず、繊維分子あるいは糸条の凝集力を高めるため、同時に繭糸を巻き付ける混繰形式とした。原糸の織度は、200d、250dおよび300dを目標として繰製し、200dの原糸は本繰糸機により弱撚糸を掛けた。原糸は、精練および染色をし、ニットの製品試作を山崎氏(保原町)に依頼した。

その結果、3タイプの本糸3本合わせのネットロウシルク・ニットセーターが試作された。これらのものは、先のспанロウシルク・ニット製品より絹らしさを有し、独特の風合いがあるものと評価できた。特に弱撚糸を掛けた200dものは、シャリのある製品となった。